データシート

McAfee DLP Prevent

機密情報を保護するポリシーを施行

情報を電子的に共有するユーザーが増えるほど、偶発的か故意かを問わず、機密データが不正な人物に送信され、機密の企業データがリスクに晒される可能性が高まります。情報は、メール、Web、インスタントメッセージング (IM)、FTP など多数のさまざまなチャネルを介して企業外部に流出します。一部のメッセージやトランザクションの外部への転送を許可する場合も、暗号化してデータを保護する必要があります。それ以外のタイプの情報の転送は許可できないため、ブロックしなければなりません。データのセキュリティ、法規制コンプライアンス、知的財産の保護を確実にするには、適切なときに適切なポリシーを施行することが不可欠です。

主な利点

既存の投資を活用

- SMTPとXヘッダーを使用したMTAゲートウェイとの統合により、ブロック、差し戻し、暗号化、検疫、リダイレクトを行い、企業メールを保護します。
- ICAP準拠Webプロキシーとの連携を通じてトラフィックを管理し、HTTP、HTTPS、IM、FTP、Webメールを介したコンテンツ違反をブロックします。

すべてのタイプの情報にプロアクティブにポリシーを施行

- 300を超える一意のコンテンツタイプを保護します。
- 機密性を把握している情報にも、把握していない情報にもポリシーを施行できます。
- 拡張により数万の同時接続をサポートします。

分類、分析、データ漏えいへの対応

- 機密情報をフィルタリングして管理し、既知のリスクからも未知のリスクからも保護します。
- すべてのタイプのコンテンツに索引付けし、細かく調整されたセキュリティポリシーを施行できます。
- 内部ファイル共有アクセスに関するポリシーを適用して、ユーザーから情報やリポジトリへの不正なアクセスを防止できます。

転送中のデータ用のセキュリティポリシーを施行

どの企業でも、データは多数のアプリケーションとさまざまなプロトコルを介して部門を越えて共有されています。したがって、ネットワークから機密データが流出しないようにプロアクティブに保護し、偶発的か故意かを問わず情報漏えいを防止し、適切なビジネスプロセスを実行できるようにする必要があります。

McAfee® Data Loss Prevention (DLP) Prevent は、SMTP または ICAP 準拠 Web プロキシーを使用してメッセージ転送エージェント (MTA) ゲートウェイと統合し、メール、Web メール、IM、Wiki、ブログ、ポータル、HTTP/HTTPS、FTP 転送を通じてネットワークから外部に流れる情報に対するポリシーの施行を支援します。McAfee DLP Prevent では、ポリシー違反が検出されると、暗号化、ブロック、リダイレクティング、検疫などさまざまな修正措置を実行できるので、機密情報のプライバシーを管理する規制へのコンプライアンスを確保すると同時に、セキュリティの脅威のリスクを低減できます。

Web プロキシーおよび MTA との連携により保護を強化

McAfee DLP Prevent は、必要なアクションを実行するために、Web プロキシー（ICAP を使用）および MTA（X ヘッダーを使用）と連携できます。アプリケーションの動作の修正に効果がない TCP セッションの単純なドロップではなく、アプリケーション層で不正なトランザクションを終了させることで、McAfee DLP Prevent はこのトランザクションを開始したアプリケーションにポリシー違反のために転送が拒否されたことを通知します。McAfee DLP Prevent は、何を保護すべきかを学習し、このアプリケーションによる同一の動作の試みを防止するので、組織の保護が強化されます。

既知および未確認の機密情報を保護

300 を超えるさまざまなコンテンツタイプを分類できる McAfee DLP Prevent によって、社会保障番号、クレジットカード番号、財務データなど、すでに把握している情報が保護されていることを確認すると同時に、非常に複雑な知的財産など、保護を必要とする情報や文書を把握できます。McAfee DLP Prevent には、コンプライアンスから知的財産の適切な使用にわたる幅広いポリシーがあらかじめ組み込まれており、包括的なルールセットと文書の一部または全部のマッチングを行うことができるので、既知、未確認を問わず、すべての機密情報を保護できます。

ビューとインシデントレポートのカスタマイズ

McAfee® ePolicy Orchestrator® (McAfee ePO ™) 管理コンソールを使用して、セキュリティインシデントとその後のアクションに関するサマリービューをカスタマイズできます。リストおよび詳細ビューと、トレンドを含むサマリービューをいつでも利用できます。McAfee DLP Prevent には、多数の定義済みレポートも用意されており、表示して確認することも、保存して後で使用することも、定期的に受信するようにスケジューリングすることもできます。

仕様

システムスループット

フルコンテンツ分析、索引付け、ストレージの最大スループット150 Mbps

ネットワーク接続

MTAおよびICAP準拠Webプロキシーを使用し、データパス内でアクティブなオフパスアプライアンスとしてネットワークに接続

コンテンツのタイプ

300を超えるコンテンツタイプの分類をサポート:

- Microsoft Office文書
- マルチメディアファイル
- P2P
- ソースコード
- 設計ファイル
- アーカイブ
- 暗号化ファイル

サポートするプロトコル

ICAPプロトコルとICAP準拠プロキシーを介して、HTTP、HTTPS、FTP、IMプロトコルをサポートします。お使いのプロキシーでサポートされているプロトコルについては、プロキシーベンダーにお問い合わせください。MTAとの統合を通じてSMTPをサポートします。

定義済みポリシー

- 法規制コンプライアンス、知的財産、使用許可などの一般的な要件に対応する幅広い定義済みポリシーとルールを提供します。
- マカフィーのキャプチャデータベースを活用して、ビジネス固有のニーズに対応できるようルールの完全なカスタマイズをサポートします。

複雑なデータの分類

McAfee DLP Prevent は、 一般的な固定フォーマットのデータから、 複雑で非常に多様な知的財産まで、 あらゆる種類の機密情報を保護します。McAfee DLP Prevent は、 以下のようなオブジェクト分類メカニズムを組み合わせた非常に精度の高い詳細な分類エンジンを活用します。このエンジンは、機密情報をブロックし、 隠されているリスクや未知のリスクを特定します。 オブジェクト分類メカニズムには、 以下のような機能があります。

- **複数階層の分類** — コンテキスト情報と階層型形式のコンテンツ両方に対応します。
- **文書登録** — 変更される情報のバイオメトリック署名を含みます。
- **文法分析** — テキスト文書からスプレッドシート、ソースコードまで、 すべての文法および構文を検出します。
- **統計分析** — 特定の文書またはファイルでのシグネチャ、 文法、 バイオメトリックの一致回数を追跡します。
- **ファイル分類** — ファイルまたは圧縮に適用されている拡張子を問わず、 コンテンツタイプを特定します。

仕様：McAfee DLP 5500 アプライアンス

コンポーネント	説明
プロセッサ	2x Intel E5-2620 6 コア、 15M キャッシュ、 2.0GHz、 7.20GT/s Intel QPI
メモリー	32GB DDR3-1333MHz
電源	2x760W ホットスワップ 電源モジュール
ハードドライブ	8x2TB SATA7, 200RPM ドライブ
NIC カード	Intel Dual Copper 1Gbps イーサネット I/O モジュール
IPMI	Intel Remote Management Module 4 (AXXRMM4)
製品寸法	2 ラックユニット (2U)

仕様：仮想マシン

McAfee DLP Prevent は、 VMware 環境で稼動できる仮想アプライアンスとして利用できます。 仮想アプライアンスを実行するための最小ハードウェア要件を以下に示します。

コンポーネント	要件
プロセッサ	Intelx86 4x vCPU
メモリー	RAM 16GB
ハードディスクドライブ	ドライブ 1：最小サイズ：100GB（VM ソフトウェア用） ドライブ 2：最小サイズ：512GB（DLP 仮想イメージ用）
ネットワークポート	4x 仮想 NIC
BIOS	VT スレッドの有効化

McAfee An Intel Company
マカフィー株式会社
www.mcafee.com/jp

●製品、サービスに関するお問い合わせは下記へ

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト20F
TEL:03-5428-1100(代) FAX:03-5428-1480

西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F
TEL:06-6344-1511(代) FAX:06-6344-1517

名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビルディング3F
TEL:052-954-9551(代) FAX:052-954-9552

福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8 アクア博多5F
TEL:092-287-9674(代)